

### 自動血球計数 CRP 測定装置 LC-175CRP

炎症疾患、感染症など、緊急性の高い検査や、経過観察の際に有効な指標となるのが、白血球数とC反応性たんぱく(CRP)の測定結果です。LC-175CRPは、血球計数、白血球3分類とCRP定量測定的全19項目を、同時にしかも迅速に測定できる自動血球計数CRP測定装置です。



炎症疾患、感染症の早期診断・経過観察に有効な指標である白血球数とCRPの測定は、従来別々の装置で行って来ました。LC-175CRPは、血球計数用の1容器(EDTA入り)だけでこれら両方の測定を可能(世界初)にしました。測定項目は、CRP定量測定と血球計数の基本8項目と白血球3分類になっています。

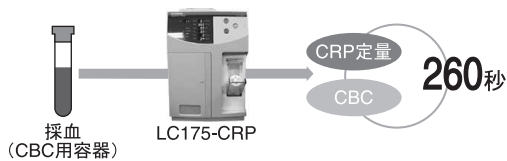
主な特長は、検体の前処理が不要で、緊急時にも対応できること。またサンプルホルダを内蔵しており、サンプル吸引ミスの追放に貢献。さらに、検体吸引量はわずか18μLを実現しており、採血量の確保が難しい小児にも最適なこと。動作音は小さく抑えられ、試薬を内蔵するのでコンパクトに設計されており、置き場所を選びません。

これらの特長をもつLC-175CRPは、時間短縮、コスト低減はもちろん、廃棄物削減まで可能にしており、初期診断用として、特に中小医療機関で威力を発揮します。

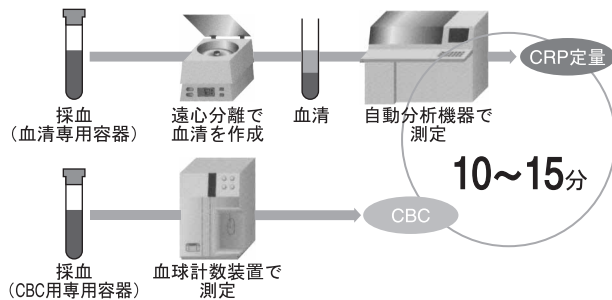
#### 特長

1. 検体の遠心分離や希釈、温度調節などこれまで行われていた前処理が不要で、緊急時に最適。
2. 各種検体容器に対応するサンプルホルダを採用し、サンプル吸引ミスを追放。
3. 血液のついたサンプルノズルを自動洗浄。
4. 空圧源に独自技術のエアシリンダーを採用し、静音と安定した圧力供給を両立。診察室内、ベッドサイドなど設置場所が大きく広がります。
5. コンパクトボディに希釈液を除く5種類の試薬を内蔵。設置場所を選びません。
6. 吸引量、全血18μLという微量サンプルで検査が可能のため、耳たぶなどからの微量の採血でも検査でき、小児科など、幼児の検査にも最適。
7. 最新50検体分のデータを記憶(オプション)。
8. QCモードで、30回分のコントロール血液の測定結果を自動的に記憶(オプション)。

#### LC-175CRP



#### 従来機器



#### 主な仕様

測定モード	CBCモード(血算項目のみ) CBC+CRPモード(血算項目+CRP項目) QC(CBC)モード(精度管理用) QC(CRP)モード(精度管理用)
測定項目	WBC, LYM%, LYM#, MON%, MON#, GRA%, GRA#, CRP, RBC, Hgb, Hct, MCV, MCH, MCHC, RDW, PLT, PDW, PCT, MPV, 白血球3分類粒度分布図, 赤血球粒度分布図, 血小板粒度分布図
測定原理	WBC, RBC, Hct: 電気抵抗法 Hgb: シアンメトヘモグロビン法 CRP: ラテックス免疫比濁法 rate法
検体量	CBCモード 10μL CBC+CRPモード 18μL QC(CBC)モード 10μL QC(CRP)モード 18μL
測定時間	CBCモード 75秒 CBC+CRPモード 260秒 QC(CBC)モード 75秒 QC(CRP)モード 260秒